

# 基本構想

## 1 まちの将来像

市民と行政、さらには、産業界、教育機関や研究機関、金融機関など多様な主体が、地域課題とその解決のための役割を共有し、自主的・主体的に地域づくりに取り組む「総動」により、すべての市民がいつでも、そしていつまでも、元気でいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、まちの将来像を次のように掲げます。

**みんな元気で いきいき暮らせる**  
**市民総動のまち あんなか**



## 2 政策の大綱

まちの将来像を実現するために、政策を6つの大綱（分野別基本政策）に整理するとともに、それぞれにまちづくりの「基本目標」を定めます。

### 都市基盤

**基本目標**  
人にやさしく、快適に暮らせる魅力的なまち  
地域の特性や環境に配慮した適正な土地利用を促進するとともに、災害に強く、人にやさしい、質の高い都市基盤の整備と維持を図ります。

### 環境・安全

**基本目標**  
豊かな自然に包まれ、安全・安心に暮らせるまち  
豊かな自然と共生し、活用しながら、災害や犯罪から市民の生命や財産を守り、安全・安心な暮らしの確保を図ります。

### 健康・福祉・子育て

**基本目標**  
いつまでも健やかでいきいきと暮らせるまち  
子どもを安心して産み、育てやすい、誰もが住み慣れた地域で支え合い、健康でいきいきと暮らし続けられるまちづくりを推進します。

### 教育・文化・交流

**基本目標**  
生涯を通じて学び、人を育むまち  
市民が自由に学習できる機会の充実とともに、健やかでたくましく、しなやかに生きる力を持った子どもや若者を育てる教育を推進します。

### 産業・雇用

**基本目標**  
地域資源を活かした、にぎわいと活力のあるまち  
地域の特性や資源を活かして人、もの、情報が行き交い、新たな価値の創造や雇用の創出により、地域が潤う産業の振興を推進します。

### 行財政・市民総動

**基本目標**  
効率的な行財政運営と、市民総動のまち  
市民総動で地域づくりに取り組むとともに、市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる公正で効率的な行財政運営を推進します。

# 基本計画

## 1 5つの重点目標

まちの将来像の実現に向け、分野の枠組みを超えて総合的かつ横断的に地域の課題解決に取り組むため、今後5年間の

**重点目標 1 市民の快適な暮らしや生命と財産を守る**

道路や公共交通などの都市基盤の総合管理により、生活空間の安全確保を図ります。また、市民総動による防災・減災対策の推進により、災害に強いまちをつくとともに、防犯・交通安全意識の徹底、消費者トラブルの未然防止を図り、市民の生命と財産を守るまちづくりを進めます。

▶ **クルマがなくても移動できるまちになってほしい。**  
6.6 **公共交通網の充実に努めます。**

市民ニーズを踏まえた的確な対応に努めるとともに、現行路線のサービス維持を運行事業者に働きかけます。また、各交通機関の相互連携のとれた公共交通ネットワークの再構築を図ります。



▶ **災害に強いまちづくりが必要だと思ふ。**  
6.6 **地域防災力の強化を図ります。**

「自分たちの地域は自分たちで守る」ための自主防災組織の結成促進に努めます。また、高齢者や障がい者などを対象とした避難行動要支援者名簿の適正管理、避難支援等関係者との連携強化を図ります。



**重点目標 2 若い世代の移住・定住を進める**

結婚から妊娠・出産・育児・教育まで、それぞれの希望をかなえるため、切れ目のない支援の充実を図るとともに、暮らしやすい魅力ある住環境の整備、働く場の確保、雇用環境の充実を図り、人口減少の中にあっても、人を育て、地域の活力の維持を図ります。

▶ **安心して子育てできるまちで暮らしたい。**  
6.6 **子育てを支援する体制づくりを進めます。**

子どもたちの遊び場の確保や、子育て世帯の相談対応、交流の場としての機能を兼ね備えた子育て拠点の整備を、市民との協働により推進します。



▶ **安中で働きたい、夢をかなえたい。**  
6.6 **就労支援の充実を図ります。**

関係機関との連携強化を図り、市内事業者の雇用を促すとともに、その紹介や情報提供を推進し、若年層等の市内での就労を促進します。



5つの重点目標を設定します。

**重点目標 3 生涯にわたる健やかな暮らしを支え合う**

住み慣れた地域で生涯にわたって健やかにいきいきと暮らし続けられる健康長寿の地域社会を実現するため、医療や保健・福祉の充実と連携強化を図ります。

▶ **安心して医療が受けられるまちであってほしい。**  
6.6 **公立碓氷病院の機能確保に努めます。**

医療スタッフ不足への早急な対応を図るとともに、今後を見据えた継続的な医療体制の確保に努めます。



▶ **何歳になっても元気に自分らしく暮らしたい。**  
6.6 **高齢者の社会参加や生きがいがづくりを推進します。**

老人クラブやシルバー人材センターなどを支援するとともに、老人福祉センターの効率的な運営を推進します。



**重点目標 4 何度も訪れたいくなる魅力を磨く**

魅力ある観光資源の磨き上げや、それらを体験する機会の整備・拡大、効果的な情報の提供、周辺都市との連携などを図り、本市を知り、関心を持ち、「何度も訪れたい・住みたい」人を増やします。

▶ **安中のいいところ、いいものを多くの人に知ってほしい。**  
6.6 **地域資源を磨き直し、観光振興につなげます。**

本市の魅力を高める新たなイメージの構築を図るとともに、「安中市ならではの」観光資源の価値や評価を高め、「安中ブランド」の創出を図ります。



▶ **いろいろな地域や国との交流で人の環を広げたい。**  
6.6 **国内外の各都市との交流を推進します。**

友好都市や姉妹都市をはじめとする、国内外の各都市とのさまざまな主体による交流を促進し、交流人口の拡大を図るとともに、本市の魅力の発信に努めます。



**重点目標 5 地域の資源をつなぎ、活力を創造する**

活力ある産業や地域社会を支えるにぎわいのあるまちづくりを推進します。また、市民総動による、人と人がつながり、結び合う地域社会づくりを推進します。

▶ **生活の充実もキャリアアップも大切に暮らしたい。**  
6.6 **仕事と生活の調和の実現を推進します。**

男性中心型の働き方の見直しや、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向け、企業等に対する働きかけや主体的な取組の支援を推進します。



▶ **みんなが力を合わせて暮らしやすいまちをつくりたい。**  
6.6 **市民総動によるまちづくりを推進します。**

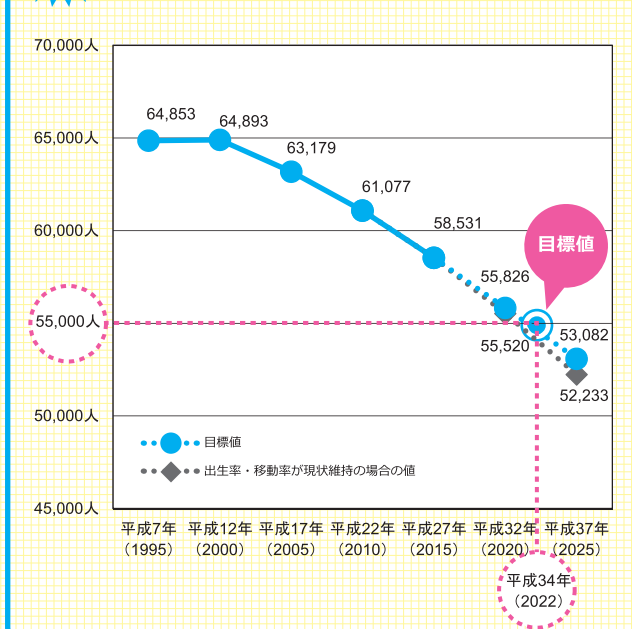
市民総動によるまちづくりについて、その必要性や効果、方法に関する講演会の開催や情報の提供・共有を推進し、市民・行政双方の意識の醸成を図ります。



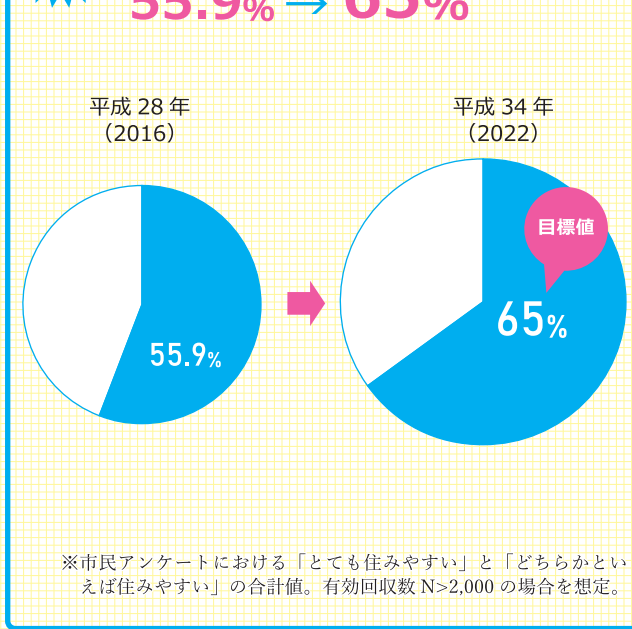
## 2 成果目標

5つの重点目標の実現に向けた施策の推進により、前期計画の最終年である平成34（2022）年に達成すべき成果目標として次の2つを設定します。

**1 人口55,000人超の維持**



**2 安中市は『住みやすい』55.9% → 65%\***



\*市民アンケートにおける「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値。有効回収数N>2,000の場合を想定。